

あきらめたらおしまい  
－自分の未来は自分の力で切り開こう－

林 明夫  
(栃木県経営者協会 会員)

《はじめに》

Q：本日の講演の目的は何ですか。

A：(林明夫：以下省略)

- (1) 厳しい経済状況の中ではありますが、就職とは何か、仕事とは何か、何のために働くのかを自分の人生の中で真正面から考え、また、雇われる能力を身につけながら就職戦線を勝ち抜くにはどうしたらよいかを考えます。
- (2) 自社も含め数多くの企業、非営利法人での実体験を踏まえ、採用試験に臨むまでの手順、採用試験に際しての注意点、内定後入社式までの過ごし方、入社後3年間の過ごし方、退職に際しての心得、休職期間中の過ごし方、再就職に際しての心構え、定年までの過ごし方、定年退職後の過ごし方、創業の心構えなどを具体的にわかりやすく解説いたします。
- (3) 参加者全員が本人の希望する職業に就けることを心から願いお話しいたします。

Q：参加者の皆様をお願いしたいことはありますか。

A：(1) 一所懸命に一期一会の精神でお話します。おしゃべり、ケータイ、居眠りはお避け下さい。

(2) 必要なところはメモをお取り下さい。帰宅後、メモはこの文章とともに何回も読み直して下さい。必ずお役に立つところがあると思います。

Q：講師のプロフィールを紹介して下さい。

A：現在の役職や活動、学習歴は次の通りです。

- (1) 株式会社 開倫塾 代表取締役社長
- (2) マニー株式会社(手術用縫合針製造) 顧問、元社外取締役
- (3) 学校法人 有朋学園 有朋高等学院 理事長(福島市)
- (4) 社会福祉法人 両崖福祉会 特別養護老人ホーム清明苑 理事(足利市)
- (5) 栃木県教員委員会 栃木県社会教育委員
- (6) 公益社団法人 経済同友会 幹事、サービス産業活性化委員会 副委員長
- (7) 社団法人 栃木県経済同友会 幹事
- (8) 社団法人 栃木県生産性本部 常任理事
- (9) 栃木県産業協議会 理事
- (10) とちぎニュービジネス協議会 理事
- (11) 足利商工会議所 議員
- (12) 宇都宮大学大学院工学研究科 客員教授
- (13) 足利市経済活性化諮問会議 会長
- (14) 開倫ユネスコ協会 会長
- (15) 開倫研究所 所長、教育経営品質研究会 主宰
- (16) CRT 栃木放送「開倫塾の時間」毎週土曜日 9:15～9:25 25年間担当
- (17) 慶應義塾大学法学部法律学科卒業。卒業後29歳まで慶應義塾大学法学部司法研究室研究生
- (18) 世界銀行研究所、ハーバード大学国際開発研究所で各々民営化短期集中コース修了

《御参考》

1つ1つの仕事や活動には、社会的使命(mission ミッション)があります。その果たすべき使命とは何かを理解し、追い求めることがその組織と社会の発展のためには大切と考えます。そう心掛けて使命感をもって1つ1つの左記の活動をしています。

《現代社会の特徴とこれからの社会で求められる基本的な能力とは》

Q：現代社会の特徴とこれからの社会で求められる基本的な能力とは何ですか。3つ教えてください。

A：(1)現代は、「知識基盤社会」です。そこで求められるのは「知識・情報・技術を相互作用的に用いる能力」です。

(2)現代は、また、「国際化社会」、グローバル化された社会、つまり、「グローバル社会」です。そこで求められるのは「多様な集団で交流する能力」です。

(3)更に現代は、「超少子高齢化社会」です。また、世界的経済危機、超円高、デフレ、東日本復興、放射能汚染など「山々な課題、超難問が山積している社会」です。そこで求められるのは「自律的に活動する能力」です。

Q：これらの社会で求められる3つの基本的な能力の前提は何ですか。

A：(1)「学び方を学ぶ」能力を身につけていること。

特に、一度「うんなるほど」と「理解」したことを、どう自分のものとして「定着」させるか、その能力が求められます。

(2)「読書による思慮深さ」を身につけていること。

そのためには、腰を落ち着けて本をじっくりとよく考えながらゆっくり読み込むことが求められます。心に響いた文章はたとえ一行、一文字でもよいから「書き抜き読書ノート」に書き写し、繰り返しそのノートを読み直すことをお勧めします。

(3)新聞を読んで自分で考える能力、批判的思考能力(Critical Thinking クリティカル・シンキングする力)を身につけていること。

新聞は毎日1時間くらいかけて読み、興味のある記事は切り抜き、「スクラップブック」に貼り付けて保存。繰り返し読み直すことをお勧めします。

《基本的な考え方》

Q：社会に出て仕事をしたり活動するに際して、基本的な考えがあればお示し下さい。

A：(1)「自己責任」、「自助努力(self-help セルフ・ヘルプ)」、「自分のことはすべて自分で行う」、「人にたよらない」、「人のせいにはしない」。そう考えることが基本かと考えます。

(2)「あきらめたらおしまい、自分の未来は自分で切り開く」という考えも大切かと考えます。

《仕事とは何か》

Q：仕事とは何ですか、何のために働くのですか、雇われる能力とは何ですか。1つずつ教えてください。まず第一に、仕事とは何ですか。

A：(1)「顧客の問題解決になること」、お客様のお役に立つことが仕事と考えます。

(2)顧客の問題解決になり、お客様のお役に立つことが社会の問題解決、社会のお役に立つことに繋がります。社会のためになるのも仕事と考えます。

(3)最終的には人々が自分の仕事、自分の役割を果たすことで、自分自身の「人生の成功」が導かれ、「正常に機能する社会」ができていきます。仕事を通して「人生の成功」と「持続可能な社会の形成」に寄与することができます。

《御参考》

人は自分が死んだ後に、後の世に何が遺せるのか考えてみよう。

内村鑑三著「後世への最大遺物、デンマーク国の話」(岩波文庫)によれば、「お金」「事業」「著作(作品)」「教育」それに「生き方」がある。名著です。「代表的日本人」「余は如何にして基督教徒となりし乎」とともに読み、「よく生きる」とは何かをお考え下さい。

### 《何のために働くか》

Q：何のために働くと考えますか。

A：(1)生活できるだけの収入を得るための第一かと思います。

(2)同時に、お客様のお役に立つため、お客様のお役に立つことで社会のお役に立つために、人は働くのだと思います。

(3)「自己実現」。人のお役に立つ、社会のお役に立つことで仕事をしていてよかった、生きていてよかったと感ずることがあります。

(4)最終的には、「よく生きる」ために仕事をするのではないかと私は考えます。

(5)「人生の成功」には、このようなことも含まれるのではないのでしょうか。

### 《雇われる能力とは何か》

Q：雇われる能力(employability エンプロイアビリティ)とは何ですか。よい仕事をするためにはどうすればよいとお考えですか。

A：(1)上司や同僚、お客様やビジネスパートナーの皆様から教えて頂いたこと、打ち合わせたこと、約束したことは詳細にメモを取り、メモを身につけることです。仕事はメモで身につけると考えます。自分の仕事への他人の信頼は、「メモ」から得られることが大きいと考えます。

(2)学び続けることです。ドラッカー先生は、「教育ある人(educated person)とは勉強し続ける人」と教えて下さいました。

(3)では、雇われる能力を身につけるために何を勉強し続けたらよいのか。

①世の中の動きを知る、世の中の課題を知ること。

②お客様が求めることを知る、世の中が求めていることを知る。

③仕事に必要なこと、また、自分に不足する「知識・情報・技術」を少しずつコツコツと身につけること。できれば、最先端のものを学び、身につけること。

(3)企業・組織とは何ですか—「永続する組織の条件」—企業・組織の本質を知ることです。

①規律ある人材が、

②規律ある考えに基づき、

③規律ある行動をする。

これが企業・組織です。「永続する企業・組織の条件」です。企業・組織で一番大事なものは**規律、規範意識**です。

(4)1つ1つの仕事には社会的使命(mission)があります。「使命」という漢字は、よく見ると「命を使う」という意味です。自らの命や、企業の存在を懸けて行うに値する仕事をするのが、使命感に基づいた仕事と考えます。企業や組織の「ミッション」・「使命」を知り、理解し、身につけ、自らの仕事について「職業人としての責任を果たす」こと、誇りをもって仕事をするのが大切です。

### 《就職試験に臨む手順》

Q：就職試験に臨むまでの手順をわかりやすく教えてください。

A：自分は就職試験を受験する「受験生であるという自覚」を持ち、「自覚」を深めることが大事です。

- (1) まずは就職を希望する企業名、就職先、業種を明確にすること。
- (2) 就職を希望する企業、就職先、業界について調査、研究を行うこと。
  - ① 公表された資料はすべて読み、現場にも行く。HP だけでは不十分です。
  - ② 企業や業界の歴史、現状と課題を自分なりに文章にまとめ上げること。
- (3) 企業や組織の基本理念、経営方針、代表的な取り扱い品目・サービス、特に社会的使命 (mission) をできるだけ「理解」するように努めること。
- (4) なぜその企業や組織に就職したいのかを頭のシンが痛くなるくらい考えた上で、そこに就職したいと考えたならば、志望理由を文章化すること。毎日、数回、音読練習(声を出して読む練習)をし、自分のことばでスラスラ正確に言えるまでにすること。

**Q：試験勉強の方法を教えてください。**

**A：試験科目を調べ、対策を行うことに尽きます。**

### 《TOEIC対策》

**Q：TOEIC対策はどうしたらよいのですか。**

**A：(1) TOEIC 運営委員会発行の TOEIC テスト新公式問題集第 2 巻、第 3 巻を最低 6 回ずつ学習。2 巻、3 巻をマスターしたと考えた場合は、第 4 巻に進むことをお勧めします。**

(2) 解答はすべてノートに書き、間違えた文法事項は高校の英文法参考書「フォーレスト」で調べることです。TOEIC の文法事項の勉強は「フォーレスト」で十分ですが、フォーレストのレベルになっていない場合は、高校生になったつもりで、時間をかけて「フォーレスト」を勉強し直して下さい。

(3) 公式問題集に出る単語で意味のわからないものはすべて辞書を引き、まずは正確に理解する。意味が理解できた単語や語句は 1 語 1 語、丁寧(ていねい)に音読練習と書き取り練習を繰り返し、正確に身につけること。

(4) リスニングの CD の Part 2、3 を重点的に聞くこと。When と Where を聞き分け、1 回聞いたら 1 点上げるつもりで、何十回、何百回も繰り返し聞くこと。100 点上げたかったら 100 回、200 点上げたかったら 200 回聴くこと。

(5) 入社後も TOEIC は求められますので、継続学習をお勧めします。1 年に最低 2 回は受け続けることをお勧めします。

(6) 昇進や希望部署への異動、リストラにも TOEIC は用いられますので、学び続けて下さい。

(7) 転職や大学院進学するときにも TOEIC のスコアは求められます。継続学習をして下さい。そう決意したら、TOEIC は毎回受け続けたほうがよいと考えます。

(8) TOEIC の参考書としては、「すみれ塾」の主宰者、中村澄子先生の一連の著作の全部を、一冊ずつ、何回も繰り返しお読みになることをお勧めします。どうしても TOEIC の点数を上げたければ、東京駅八重洲口で開かれている「すみれ塾」に毎週 1 回、1～2 年通うことをお勧めします。

## 《SPI対策》

Q：SPI対策はどうしたらよいのですか。

- A：(1)問題自体は良問で難しくありませんが、初めは、解くのに、とにかく時間がかかります。解けなければ話にならないので、ゆっくりでもよいから確実に解けるようにしましょう。同じ問題を何回でも解きましょう。解き方や解答を理解し、覚えるまでがんばりましょう。
- (2)最初は解答を見ながらでも OK です。初心者用の SPI の単元別参考書をじっくり学習すれば、問題自体は誰でも解けるのが SPI です。
- (3)一度やった問題でなぜそのような解答になるかがよく「理解」できたものは、問題を見た瞬間にパッと答えが出てくるようになるまで同じ問題を繰り返し学習することです。時間を計りながらスピードを上げて SPI に取り組みましょう。
- (4)繰り返し学習するために、解答はすべてノートに書くこと。問題集に解答を書き込んでしまうと、繰り返し学習の妨げになります。くれぐれも御注意下さい。

## 《筆記試験対策》

Q：筆記試験対策はどうしたらよいのですか。

- A：(1)不得意科目は中学校の、普通の科目は高校の教科書や参考書、資料集をフル活用することです。
- ①中学校や高校など学校の教科書は一度勉強し、定期試験対策の勉強などは知識を定着させたことがあるものなので、アツという間に中学校時代、高校時代のレベルに戻れます。新しいテキストは、どんなにやさしいものでもゼロからの勉強となりますので時間がかかります。
  - ②中学校や高校の教科書や参考書などの「音読練習」、「書き取り練習」、「計算・問題練習」は非常に有効です。「音読練習」するだけでも、多くの記憶が戻ります。
- (2)新聞をじっくり読むことは就職試験に最も役に立ちます。
- ①大学や地域の図書館で、毎日1時間以上、新聞を何紙も読み続けることです。
  - ②日本語で意味・内容がよくわかっている記事は、Daily Yomiuri などの英字新聞の記事も少しずつでよいからがんばって読み続けること。
  - ③現代的な課題について論文を書くときには、各新聞の社説や論説、コラム特集記事は有用。
  - ④「新聞も読まないで就職試験に合格できると思わないほうがよい」と考えている採用担当者は驚くほど多いようです。世の中の動きがわからなければ、仕事にはならないからです。
- (3)文字は、相手が読むことを前提に、わかりやすく丁寧に書くこと。
- ①楷書(かいしょ)、つまり学校の教科書のような書体で文字を書くことが不得意な人は、「ボールペン習字」を、薄い本1冊でよいから買い求め、ノートに繰り返し練習すること。
  - ②書類を送る封筒の文字も採用側は見えています。
  - ③試験官は数多くの答案や提出書類を読みますので、読みやすい文字、つまり「楷書」で答案や書類を書くほうが印象がよいと考えます。

## 《CT》

Q：コンピュータのスキルは求められますか。

A：(1)はい。コンピュータのスキルもできるだけ身につけること。自分のレベルを明確に言えるようにするとよいでしょう。

(2)ワード、エクセルが使えるようにしておくとい良いでしょう。使えなければ、今日からでも勉強し、身につける以外ありません。

## 《エントリーシート》

Q：エントリーシートはどう書いたらよいのですか。採用試験の勉強はどうしたらよいのですか。

A：(1)エントリーシートの書き方や試験勉強の仕方が大事。各大学等の就職支援センター、キャリア支援センターなどをフル活用すること。

(2)採用試験に合格した先輩からアドバイスをもらうこと。

(3)書いたものを先生や友だちに見てもらったり、同じ文章を自分でも何回も訂正し続けるとだんだん上手に書けるようになります。

(4)エントリーシート書きや試験勉強は一人でやってもよいですが、アドバイスを求めたり、助けを借りたりすることも大事です。

\*一人で悩まないで、ポイント、ポイントで、遠慮せずにしかるべき人に相談しましょう。

## 《集団討論》

Q：集団討論はどのような対策をしたらよいのですか。

A：(1)大事ななのは自分の考えを論理的に、また、わかりやすい、丁寧な言葉で表現する練習をすることです。

(2)テーマからはずれた発言は避けること。発言する人の考えを十分に聞き、それまでの発言をよく理解してから、挙手をして、議長役から発言の許を得てから、一呼吸おいて発言すること。チームプレイができるかを見る試験官は多いです。

## 《就職試験当日の心得》

Q：試験当日の心得を教えてください。

A：(1)集合時間の20～30分前、どんなに遅くても10分前までには会場に到着することです。時間の30分前に会場に到着できるのは大事な能力です。

①そのためには、前日までに一度は会場の下見をして下さい。

②トイレは会場に到着するまでに済ますこと。ただし、ガマンはしないこと、もちろんです。遠慮は要りません。

③会場に入る直前から会場から出るまで試験は続いていると考えて下さい。控え室や廊下での態度、発言、挙動も注意して下さいね。

(2)服装第一です。

①下着の文字や色が透けて見える服装はしない。

②背広に白い靴下やスニーカーは合わない。

③髪型や髪の色、ピアス、指輪、ブレスレットに注意。

④試験会場で上着は普通脱ぎません。

(3)相手の目を見て、元気にあいさつをしましょう。

①小さい声は聞きにくいので、少し大きめの声であいさつを。

②にこっと笑い、明るく元気にあいさつを。

③にこっと笑えない人は、鏡を見てスマイル・トレーニングをすることをお勧めします。楽しみながら気楽に練習して下さい。

(4)躰(しつけ)を身につけること。何が躰かと言えば…

①敬語表現を含む言葉遣いができることが躰の第一。  
「です・ます調」で話せるようにしましょう。

②美しい立居振舞が躰の第二です。きれいなお辞儀の仕方も何回も練習を繰り返し、きちんと身につけること。

「5S」  
「整理」「整頓」「掃除」「清潔」「躰」  
をローマ字で書くとSで始まるので  
「5S」という。  
躰とは誰に言われなくても、自分の  
意思で行えること。自然にできること。  
身につけていること。

(5)筆記試験で気をつけることは…

①文字や数字を、わかりやすく丁寧に書くこと。

(ア)マンガ字は避ける、クセのある字は避ける。

(イ)楷書で書く。

(ウ)書けなければボールペン習字の本を一冊買って、何回も何十回も練習を繰り返して下さい。

②筆記試験中の態度にも注意を。机におおいかぶさって眠ったりしないこと。カンニングをしたら絶対に合格しません。

(6)面接試験では

①ドアの開け方、お辞儀の仕方、椅子への着席の仕方の練習を。どこに着席したらよいかも、マナーの本で勉強を。

②背筋を伸ばし、相手の目を見て応答する練習を。

③質問に対して、よく考えた上でゆっくりわかりやすく解答する練習を。

④志望動機、入社してから取り組みたいことは何かは必ず質問されます。自分で考えた結論をしっかりと理由をいくつか付して明確に述べる練習をしておきましょう。

(7)集団討論

①議論のテーマとそれまでに出示された意見を踏まえ、理由を明確にした上で自分で考えた意見・結論をはっきり、短く述べる練習を。

②議論していて、シドロ・モドロにならないように話す練習を。

③語尾が相手に聞き取れるよう、語尾をしっかり発声する練習を。

- ④どんなに素晴らしい考えでも、声が小さいと、少し離れたところに着席している試験官が聞き取れないという事態が発生し、不合格となることもあります。どなる必要はありませんが、声が小さめの方は、少し大きめの声で発言する練習をしましょう。

練習、練習、また練習です。練習は不可能を可能にします。

### 《内定後入社までの過ごし方》

Q：内定後入社までの過ごし方を教えてください。

A：(1)今通っている大学、短大、専門学校、大学院等での勉強に全力を尽くすことが最も大切です。

(2)学生の本分は、勉強。本分を全うすることだからです。

\*本分(ほんぶん)とは、その立場にある者として他を犠牲にして果たすべき義務。

(3)学校時代の友人は一生の友人、先生は一生の恩師です。卒業まで、友情、学恩を育みましょう。

(4)学生時代に一度は行ってみたいと思っていた場所に行く努力をすること。

(5)学校時代の教科書、参考書、資料集、ノートは一生役に立ちます。仕事にも、社会的活動にも、また、何よりも人生を充実させる上で役に立ちます。処分することなく、整理、分類し、たえず目を通すことで一生、現在の学力が保たれます。よく勉強した科目は、少し勉強から離れてもすぐに元に戻れます。そのためにも、学校の教科書は絶対に処分しないこと。中学校や高校の教科書なども絶対に処分しないこと。一生役に立つのが学校で勉強した教科書やノートです。

(6)勤務先の業界、業種の動向について深い関心を持ち、専門誌、新聞、単行本などで研究、資料収集を怠らない。

(7)病気があったら、入社までにできるだけの治療を試みて下さい。

(8)内定辞退の原因が発生したら、一日も早く直接人事担当者に会い、お詫びをし、承諾を頂くこと。これは礼儀です。

### 《入社後3年間の過ごし方》

Q：入社後3年間の過ごし方を教えてください。

A：(1)健康第一です。健康管理は自己責任です。そのために、規則正しい生活をしましょう。

①毎日、同じ時間に起床し、同じ時間に就寝。

②1日1回は、静かな時間を持ち、身体と精神を休める。

③週に1回は、心からリラックスできることを。自然に親しむこと、楽しいことを。

④栃木県や群馬県、茨城県など北関東には温泉が多いので、気軽に行ける近場の日帰り温泉や森林浴が一番よいかも知れません。

⑤自分のことはできるだけ自分でする努力を。

(2) 仕事はメモで身につけることを早く知ること。

①必要なことはすべてメモし続ける。メモは読みやすく加工し整理し続ける。

②時間があったらメモを「理解」する。よく「理解」できたら「音読練習」や「書き取り練習」をして、正確に身につける(定着をはかる)。大切な数学や計算はその意味が「理解」できたら、パツ、パツと言えるまでにする。

③1日1回、週に1回は、取ったメモをすべてゆっくり読み直し、覚え込む。

④メモを通して、コツコツと、1つ1つの仕事(現場作業)を確実に身につけることが入社後3年間になすべきこと。

⑤職場で出会う自分以外のすべての人は、顧客も含め、すべて「師」、先生であると考えよう。

(3) 5S(整理、整頓、掃除、清潔、躰)の実行を。

(4) 仕事の上での基礎教育の内容(仕事の上で欠かすことのできない知識、情報、技術)を少しずつでよいから時間をかけて正確に「理解」し、「定着」(身につけること)、現場で実際に使えるようにすること(「応用」)。

(5) 仕事は「段取り八分」(だんどりはちぶ)、仕事に取りかかる前にどれだけ準備したかで結果(効率と正確さ、バラツキのなさ)が決まる。

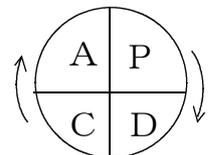
①準備の中で最重要なのが、仕事の順序、つまり「手順」(その仕事をどのような順序でやるか)を考え抜くこと。A、B、C、D、E、Fとその日にやらねばならない仕事があったら、どの順序でやったらよいのかを考えること。(A → B → C → D → E → F がよいのか、F → E → D → C → B → A がよいのか)

②その仕事全体の手順書(計画書、Plan)や、その日の仕事の手順書(計画書、Plan)を仕事に取りかかる前に、また、一日の仕事を始める前に必ず書き上げる。その上で、頭の中に正確に入れ、できるだけその通り実行(Do)する。

(ア) 手順書通りに1つ1つできたか否か確認(Check チェック、検証)しながら行うのが最もよい仕事のすすめ方。

(イ) 様々な出来事が発生したら、その度ごとに修正(Action アクション)する。

(ウ) これを P(Plan 計画) → D(Do 実行) → C(Check 検証) → A(Action 修正)、略して PDCA をまわすと言う。



(エ) 1日1回、1週に1回、1か月に1回、四半期(3か月)に1回、1年に1回、定期的に「仕事の手順書」に反省点、ふりかえり(リフレクション)を赤ボールペンで書き込み続ける。

(オ) 「昨日よりは、今日、今日よりは明日」の精神で毎日、毎週、毎月、毎四半期、毎年、少しずつよくなろうと改善をつみ重ねる。

(カ) このような取り組みをすると、「仕事の手順書」自体が自らの「成長の記録」となる。

### 《退職に際しての心得》

Q：退職に際しての心得を教えてください。

A：(1)顧客や勤務先への迷惑はできるだけかけないことが社会人としてのマナーです。

(2)退職の申し出は、理由を付して、できれば半年～2・3か月以上前、どんなに遅くとも1か月以上前にするのがマナーです。

(3)引き継ぎは、メモを作って詳細、丁寧、時間をかけて行うこと。自分の退職が直接の原因で会社・職場の売上げや利益、計画の妨げにならないようくれぐれも注意することです。

(4)立つ鳥跡を濁さず。会社の経営情報だけでなく、勤務先の悪口や批判は一切口にしないこと。誰にも、家族にも、一生、話さないこと。耳にした人は、いやな思いがするだけ。何の解決にもならない。

(5)上司や同僚、取引先に礼状を必ず出すこと。

### 《転職に際しての心得》

Q：転職に際しての心得を教えてください。

A：(1)前の勤務先の経営情報は絶対に開示しない。前の勤務先の悪口や批判は一切口にしない。前の勤務先との比較も絶対にしないことです。

(2)今度こそ骨を埋めるつもりで、新入社員として、一所懸命(一つの所で命を懸けるくらい熱心に)働くことも大事です。

(3)知ったかぶりをしないこと。経験者だからといって威張らないこと。その職場でも仕事をゼロから身につけるつもりで、大切なことはコツコツとメモを取り続け、メモを身につけること。

(4)今度こそ、P→D→C→Aを自分なりに完全にまわすこと。

Q：たえず仕事上のスキルを身につけ、プロの職業人として定年まで過ごすためにはどうしたらよいのですか。

A：(1)危機意識、当事者意識を持ち続け、問題を先送りにせず解決すること。

(2)「観察」→「分析」→「判断」の手法を身につけること。

①「観察」とは、何が本当の問題か発見すること。

②「分析」とは、何が問題の本当の理由かを、「なぜ、なぜ、なぜ」と頭のシンが痛くなるほど突き詰めて考えること。

③「判断」とは、問題の解決方法を考えること。

(ア)「応急(緊急)措置」…とりあえずどうするかを考えること。

(イ)「システム変更(制度設計)」…何年かかけてしくみをどうするかを考えること。

(3)「競合比較」…競争相手がどのようにして問題解決を図っているかを知ること。

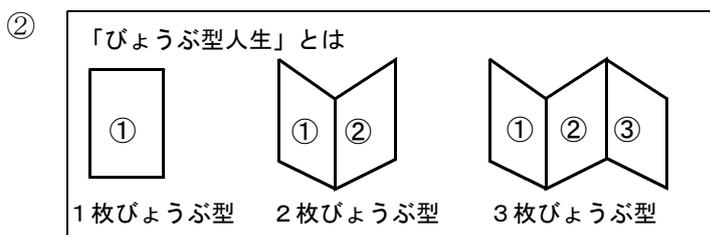
- (4) 「ベストプラクティスのベンチマーキング」… 1つ1つの問題についての最良の実践例を次の3つから素直な心で学び続けること。
- ①社内ベストプラクティスのベンチマーキング
  - ②同業他社のベストプラクティスのベンチマーキング
  - ③異業種のベストプラクティスのベンチマーキング
- \*身近な社内にも、同業他社にも、異業種にもベストプラクティスは存在する。自分以外は「師」と考えていれば、参考になることは山ほどありますよ。
- (5)強い問題意識の下に因果関係(何をすればどのような結果になるかという関係)、「定石」をまずは知ること。
- (6)知っても技術や組織(しくみ)が欠けていけばすぐにはできないので、できるだけ簡単な形で少しずつ実験を繰り返し、コツコツとあるべきものをつくりあげること。
- (7)「田舎の10年、京の3日」。時には、日本の最先端、世界の最先端に接し、刺激を受けてくる努力をすること。
- (8)厳しく叱ってくれる「師匠」を持つこと。
- (9)「励まし合う仲間」を持つこと。傷口をなめ合う愚痴のこぼし合いのような会合はできるだけ避けましょう。
- (10)結果が出なければ仕事をしたことにはならないというプロとしての自覚を深めること。
- (11)高い志、夢を持ち続けること。
- ①「持続する志」を持つことです。
  - ②「If you can dream, you can do it!」夢は必ずかないます。
- (12)たえず学び続け、同時にいつも最悪のことを考えること。どうしたら危機を発生しないしくみができるか、一度発生した危機を乗り越えることができるかを考え続けること。

### 《定年退職後の過ごし方》

Q：定年退職後の過ごし方を教えてください。いつまでも若々しく生きるとは何ですか。

A：(1)びょうぶ型人生のすすめ、人生は長い、充実した人生を送りましょう。

①人間として自分の一生にとって大切なものは何か、いくつか考え、その1つ1つを大切に大切に少しずつ勉強して内容を充実していく人生。



③家庭での生活の中に1つ、仕事での生活の中に1つ、社会での生活の中に1つ、大切なもの(びょうぶ)を考えるのも面白い。

④家庭の中に3つ、仕事の中に3つ、社会の中に3つ、大切なもの(びょうぶ)を考えるのも面白い。

⑤1つ1つのびょうぶの内容を、初心者レベルから世界最高レベルにまで、自分なりに一生かけて自分の力でもっていくことはもっと面白い。

(2)退職後になすべきこと—一生勉強、一生青春—(相田みつを先生)の精神で。

①自分のことはすべて自分です。

②1円でもいいから収入が得られる仕事を死ぬまでやり続ける。

③どんな小さなことでもよいから社会のお役に立てる、みんなのお役に立てると思われることを自己責任、自助努力で思い切りやる。

④好きな勉強を、好きなだけやる。

⑤学生時代の勉強を、もう一度やり直す。

\*大学や大学院で一生勉強し続けるのも面白い。

\*図書館や美術館、博物館、体育館、公民館などの社会教育施設の活用スキルを身につけ、どんどん活用する。

### 《創業の心得》

Q：創業の心得とは何ですか。明るく、楽しく、元気よくとはどういうことですか。

A：(1)何を自らの仕事とするかが大事。

①直感も大切だが、自分の適性や能力、現在の経済状況を踏まえつつ、どのような仕事がかれの「時流」(お金の落ちているところ)なのかを徹底的に調査することも大切。

②他の地域で大流行して(はやって)いて、この地域ではほとんど見られないことを他に先がけてやるのも一手。

\*但(ただ)し、地域の特性もあることに注意。

(2)とにかく小さく始める(お金をかけない)こと。

①自分でやれることは、すべて自分でやる。

②賃金が支払えるようになるまで人は雇わないこと。

(3)365日一日の休日もなく朝から晩まで働き続け、24時間寝ても覚めても仕事のこと、つまり、お客様の問題解決とは何かを考え続けるのが創業者。

(4)「0(ゼロ)から小へ」→「小から中へ」→「中から大へ」→「大から永続的発展へ」と段階が企業にはあるようだ。

①但し、「小は小なりに」「中は中なりに」「大は大なりに」永続的に企業として発展するという考えもある。

②企業規模の拡大を追わず、長寿企業を目指すのも一つ。

③創業のDNAと革新(イノベーション)の精神を伝え続けるしくみをつくるのも創業者の役割。

④ともに働く人の幸福を考え続けること。働く人を大切に。

(5)健康第一。倒れたらおしまい。

《あきらめたらおしまい。自分の未来は自分で切り開く》

14. おわりにーあきらめたらおしまい、自分の未来は自分で切り開くー

(1)企業はたえず人手不足。規律ある人材、自律的に活動する能力を備えた人材はいつも不足している。

(2)半分以上、できれば三分の二以上、入れ換えねば経営は維持できないと考えている経営者も多い。

(3)問題は、誰をこれから社員として迎えるか、誰をバスに乗せるか。

(4)もしかしたら、皆様の競争相手は日本人以外かも知れない。

\*世界の大学は大競争時代に突入。自分の大学の存在を懸けて国際競争力のある人材育成に励むようになった。

(5)①目を世界に開いて、どのような能力(スキル)を身につけなければならないかを考えて頂きたい。

②そのようなスキルさえ身につければ、皆様は世界で大活躍できる。

③あきらめたらおしまい。自分の未来は自分で切り開く。

以上

御清聴を感謝申し上げます。

◆御質問がありましたらお気軽にお寄せ下さい。

## 失業期間中の過ごし方

—あきらめたらおしまい。自分の未来は自分で切り開こう—

開倫塾

塾長 林明夫

### 《明るく、楽しく、元気よく》

#### 1. 明るく、楽しく、元気よく

- (1)失業中こそ自由と考え、気分は明るく、楽しく、元気よく過ごそう。
- (2)仕事がないと落ち込んでも誰も喜ばない。落ち込んでも何の解決にもならない。逆に、周囲に心配をかけるだけだ。
- (3)毎日、規則正しい生活をして、体調を整えよう。息を深くして、呼吸を整えよう。精神を整えよう。

### 《失業中こそ、勉強、勉強、また、勉強を》

#### 2. 失業中こそ、勉強、勉強、また、勉強を

- (1)一日一回は図書館に行き、1～2時間をかけて新聞をなめるように読み、世界や日本、地域の現状と課題を正確に認識しよう。
- (2)雑誌の記事や論説も腰を落ち着けてじっくりと読み込み、様々な事象についてより深い認識を得ることを目指そう。
- (3)自分の専門領域の知識・情報・技術を深めるために、1日に5～6時間はどこでもよいから机に向かおう。その成果をノートに少しでも、たとえ一行でもよいから記録しておこう。
- (4)新しい職場で求められるのは、思慮深さを備えた規律ある人材、つまり自律的に活動する能力を持った人材である。そのような雇われる能力(Employability エンプロイアビリティ)を再び身につける大切な期間として、失業期間を考えるべきだ。
- (5)語学(特に英語)とコンピュータのスキルアップも欠かせない。
  - ①英語は、中学校時代、高校時代の教科書、参考書をもう一度声を出して読み直すこと。できれば何回も音読練習、書き取り練習を繰り返すこと。
  - ②仕事に必要なと思われるコンピュータの知識や技術も、この時期にしっかり身につけること。
- (6)人生とは何か、仕事とは何かを、一度じっくり考えてみる。こんな生き方をしたいと思う人がいたら、その人の伝記を何回も読み込む。
- (7)週に1～2日は地元から出てみる。月に1～2回は小さな旅行を。できれば、年に1回は海外に出掛けて、世の中の動きを見る。中国やインド、タイやベトナム、それに隣国の韓国、台湾、ロシアも是非出掛けてみよう。

(8)体力強化、気分転換のために、数日に1回は体育館や散歩、日帰り温泉にも。美術館、博物館、神社、仏閣などにもどんどん出掛ける。

(9)したい勉強があれば、思い切りしてみるのも面白い。

### 《一生勉強、一生青春》

#### 3. 一生勉強、一生青春

(1)失業期間中も人生の大事な時期。焦ることなく、次への大切なステップの時期と考えて、充実した毎日を過ごそう。

(2)これぞと思う企業や勤め先があれば、どうすればその社会的使命(ミッション)が達成されるか、自分はそこで何ができるかを突き詰めて考えた上で、採用担当者に直接会う努力をすることも大事なチャレンジ。

(3)大学や短期大学、専門学校、大学院にもう一回入り直す、社会人として入学することも。大学開放講座(コミュニティカレッジ)で勉強し直すことも。

(4)多くの大学の図書館は、手続きさえすれば誰でも利用できる。大いに利用しよう。

(5)あきらめたらおしまい。自分の未来は自分で切り開こう。「一生勉強、一生青春」です。

以上

